

2020年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居の方が安心して自分らしく地域で暮せるよう、日常生活の中で様々な相談・支援を行い、主体的に生活できるようにサポートしてきました。いずみ・みなもにおいては、単身生活練習用の部屋に入居していた2名の方が、グループホームで必要なスキルを身につけて単身生活へ移行しています。また、松山市のワンステップ事業を活用した昼食体験や夕食体験、チャレンジ事業を活用した体験外泊等を行い、長期入院の方の退院促進に努めました。

2020年度 どんまいハウス実績

(2021年3月末 現在)

見学者数	新規入居者数	退所者数	入居者数
10名	5名	5名	31名

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2021年3月末現在で定員20名に対し登録者数30名、平均通所者数18.5名と目標を達成することが出来ました。
自主製品の製作・販売、アメニティやDM等の委託作業に関しては、感染症拡大の影響を受け、販路の縮小、受注減少となった部分もありましたが、施設外就労においては従来のマンション清掃、品出し作業、厨房清掃に加え、企業施設内の除草作業や高齢者施設の昼食準備と言った新しい作業にも積極的に取り組み、安定した授産収入を確保することができました。利用者一人ひとりの作業意欲に働きかけ、丁寧に確実な作業を遂行していくことで、新規契約につながっています。
まだまだ厳しい状況がつづくことが予測されますが、どんまいクラブが日常の一部となり、利用者に、また地域に必要とされる事業所となるよう利用者の視点にたった支援を行っていきます。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、令和3年3月末現在で定員20名、登録者数28名、令和2年度平均通所者数16.6名となっています。今年度はコロナウイルスによる影響が大きく、作業場の人数制限や手洗い・換気の徹底、在宅就労などを組み合わせ利用者の体調や生活が維持できるよう対策しながらサービス提供しました。授産事業の弁当のゆっくり屋では、手作り弁当であることや野菜がたっぷり入っていることがお客様から喜ばれ、口コミでの紹介や他事業所へのケータリングもおこない、製造数も増加し工賃向上につながりました。また、昨年度に引き続き、1名の利用者が一般就労につながりました。新しい生活の中で不安を抱える利用者に対し、本人が相談できる場所の一つとして関係を保ち、安定した就労が持続できるよう継続的にサポートしています。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、2021年3月末現在、定員20名に対し38名の登録者があり、2020年度の平均通所者数は18.7名でした。新規の利用者が増え、一人ひとりのニーズや特性に合わせた作業を提供することにより安定した通所につなげ、平均利用者数を伸ばすことができました。
授産事業においては、イベントや研修会の減少によりチラシや冊子などの印刷物の受注が減少、ICT・印刷の共同受注窓口である「えひめICTチャレンジド事業組合(e-ICA)」との連携や、新規の委託作業や施設外就労の受注により売り上げの確保に努めましたが、2019年度ベースの売り上げを下回りました。
就労支援においては、えひめ障がい者就業・生活支援センターや愛媛障害者職業センター、ハローワークとの連携を密に行い、2021年度4月の一般企業の就職が1名決定しています。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは
自立生活援助事業所まいさぼは、2020年度、地域移行支援事業を利用して精神科病院から退院された方1名、グループホームから単身生活を始められた方2名、計3名の支援を行ってきました。定期的な訪問相談や同行支援などを行い、地域での生活をする上で生じる様々な状況にご自身で対応できる力を身につけられるよう支援をしてきました。利用者の方に統一した支援を行えるように、事業所内での情報共有に努めるとともに、医療機関、関係機関とも連携して地域での生活を支えてきました。

- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは令和3年3月末現在、契約数は計画相談(91名)、地域移行相談(5名)、地域定着相談(9名)です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、コロナ渦中という事もあり、退院支援について難航しましたが、令和2年度は4名の方が退院に結び付きました。
- ⑦ シェアハウスこだちは、掃除や食事などの生活支援として週3日支援員が訪問し、5名の方が共同部分の清掃や草引きなど協力しながら生活しました。2020年3月には東側の側道との境界線工事をおこない、入居者からの希望もあり花壇を設置しました。チャレンジ事業やワンステップ事業など松山市の地域移行・定着支援事業も活用しながら見学体験も随時おこないました。
- ⑧ 法人のサロン事業さろんだぞうは、日中活動がしんどい方や一人暮らしに寂しさを感じている方、自粛生活により窮屈な生活を余儀なくされた利用者に対して居場所を提供しました。市内の感染状況が落ち着いた際に、感染症対策を徹底しながら、マスク作り、パソコン、DVD鑑賞など、少人数で実施できる活動を行いました。自粛生活の中でも室内に引きこもりがちにならないよう、居場所の一つとしての役割を果たしました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4月1日 ～3月31日	松山市内	22名	松山市内の精神障害者32名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神障害者31名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	8名	松山市内の精神障害者32名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神障害者45名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	4月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神障害者3名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の精神障害者94名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	松山市内の精神障害者5名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	サロン事業 さろんだぞう	9月1日 ～3月31日	松山市内	48名	
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他事業所との交流会、勉強会など	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	

第2号議案 2020年度NPO法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者
4月	8日	職員研修（障害福祉計画と法人理念について）	どんまい職員
5月		どんまいハウス：コロナ感染防止の為、事務所移動（本町・宮西）	
6月	17日	NPO法人どんまい総会・理事会（リモート）	理事・社員
	24日	職員研修（生活保護について 講師：谷本理事長）（リモート）	どんまい職員
7月	21日	朝日新聞掲載	
	24日	職員研修（虐待防止について）（リモート）	どんまい職員
	31日	人権教育委員会	濱石
8月	1日	まいん・まいさぼ移転	
	26日	職員研修（地域移行について）	どんまい職員
9月	23日	職員研修（感染症について）（リモート）	どんまい職員
10月	28日	職員研修（防災・交通安全について）（リモート）	どんまい職員
	30日	聖カタリナ大学 看護学科講義	ピアサポーター2名・濱石・川本
11月	10日	人権教育推進委員会研修	濱石
	11日	医療観察制度松山地域連絡協議会	
	28日	職員研修（成年後見制度伝達研修）（リモート）	どんまい職員
12月	11日	聖カタリナ大学 看護学科講義	ピアサポーター2名・濱石・川本
	23日	職員研修 保護観察制度（リモート）	講師 社会復帰調整官 長尾氏
1月	2日	就労継続支援B型事業所 開所	
	15日	聖カタリナ大学 看護学科講義	ピアサポーター2名・濱石・井上
	27日	職員研修 障がい福祉の動向（リモート）	どんまい職員
	30日	河原学園 合同説明会（リモート）	
2月	6日	虐待研修（一般）	職員
	9日	虐待研修（管理者）	管理者2名
	12日	聖カタリナ大学 看護学科講義	ピアサポーター2名・濱石・井上
	24日	職員研修 就労伝達研修（リモート）	どんまい職員
3月	23日	職員研修 サビ管研修伝達（リモート）	どんまい職員

■ 法人内定期開催

- ※ 精神保健福祉支援連絡会議（コロナウィルス感染防止のため中止）
- ※ 運営委員会（毎月1回 /理事長・理事・管理者）
- ※ 事業所会議（毎月1回 /管理者）
- ※ スタッフ会議（毎月1回 /職員全員）
- ※ 合同カンファレンス（毎月1回）
- ※ 虐待防止委員会（2カ月毎）
- ※ ピアサロン（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ さろんだぞう（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ どんまい食堂（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ さろんだぞうカフェ（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ まな部（月1回）

■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会（相談支援専門員・担当職員1名）
- ※ ピアマネジャー会（ピアマネジャー2名）

■ ピアサポート事業（別紙）

■ その他

- ※ 法人としては、松山市の地域サロンの参加、ピアサポート事業、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習性の受け入れなど、地域の精神保健福祉関係事業に参加協力しました。
- ※ コロナウィルス感染拡大防止の為、様々なものが中止となる中で、ZOOMを利用して可能な限りのOFF-JTの参加、職員研修及び、まな部による勉強会を行い、職員の質の向上を行いました。
- ※ コロナウィルス感染防止に対する助成金の申請を行い、感染症対策に努め、利用者の安心と安全を図るように創意工夫しました。

2020年度ピアサポート活動について

《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学対応										1			1
体験対応								1					1
同行支援				1		2	1						4
体験発表							2		4	2	2		10
その他													0
研修													0
計	0	0	0	1	0	2	3	1	4	3	2	0	16

【今年度の取り組み】

コロナウィルスの影響で精神科での実習がなくなった看護学生向けに、3回に分けて体験発表を行いました。
また、ワンステップやチャレンジ事業で体験、見学に来られた入院患者へ、同行支援や体験のサポートを行っています。
法人内ではどんまいの新人職員向けに体験発表を行い、ピアサポート活動について理解を深める研修の機会を設けました。

《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①動機づけ支援(長期入院者)				1	1	3	3	4	1	4	4	17	38
②動機づけ支援(支援者)													0
③話し相手(病院)								1					1
④話し相手(訪問)									1		1	2	4
⑤同行支援												2	2
⑥見学対応													0
⑦その他					2								2
計	0	0	0	1	3	3	3	5	2	4	5	21	47

【今年度の取り組み】

・登録ピアサポーター 12名

ワンステップ事業でB型事業所の体験に患者さんが来られ、ピアサポーターが体験のサポートを行いました。また、12月からGH入居者への話し相手の活動がZoomで再開したり、地域移行支援で退院した方が地域生活に少しずつ慣れていくことができるように、新たに話し相手の活動が始まっています。

また、コロナ禍で病院での活動への参加も出来なかったため、動機づけのためのDVD作成を行いました。入院患者や病院職員に向けて「地域生活の不安についてなど」のアンケートを実施し、アンケートを元にDVD作成を行い、DVDを見もらうことで、安心して地域生活を考える材料としてもらうなどの活動を行っています。

【来年度の取り組みについて】

来年度は、今年度職員向けに行ったピアサポートについてのアンケート結果を元に、ピアサポート研修を行う予定にしています。ピアサポーターにも協力してもらいながら、研鑽の機会を作っていきたいと考えています。また、今年度に引き続き看護学生など、支援者向けの体験発表の機会を増やしていきたいと考えています。

ピア担当の職員だけでなく、事業所の職員もワンステップ事業などで患者さんが体験に来られた時など、少しずつ関わってもらえるような機会を増やすことで、患者さんが退院してきた時に、どんな場所だったら生活しやすいのか、どんな事業所だったら通所しやすいのかなど一緒に考えていくことができるようになると思っています。そのためには、病院の患者さんや職員さんに地域に目を向けてもらい、ちょっと体験してみたいなと思ってもらえるような働きかけが必要になってきます。今年度作成したDVDを活用し病院へ配布したり、コロナ禍でも出来る取り組みを保健所と協力しながら行っていきたいと考えています。

2021年度事業計画書（案）

2021年4月1日から2022年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、障害者共同生活援助事業所、障害者就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所の運営を事業の柱として、精神障がい者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障がい者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスでは、本町センター「こもれび」「わかば」の定員を1名ずつ増やし「ひなた」「いずみ」「みなも」5施設で34名の定員とし、引き続き入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居されている方が主体的な生活を送れるよう、日常生活の自立支援はもちろん、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。また、松山市のワンステップ事業やチャレンジ事業を積極的に活用し、社会的入院の方の退院促進を進めていきます。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、利用者に対し安心して通所できる作業環境の整備に努め、生産活動の機会を安定的に提供するとともに、利用者の特性や状況に応じた訓練を通して、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう支援を行います。利用されている方々が自分らしい生活を送れるよう地域啓発や社会資源の提供に力をいれ、地域へ発信できる事業所を目指します。作業内容や効率を見直し、さらなる工賃向上を目指すことで、モチベーションややりがいを高め、就労意欲の向上につながるよう新しい取り組みにも積極的にチャレンジします。職員一人ひとりの支援に対する知識、技術の向上を目指し、関係機関と連携しながら満足度の高い支援を提供し、平均通所者数18.0人以上の維持に努めます。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を途切れることなく提供できるよう感染症や災害への対応を強化し継続したサービス提供ができる環境や取り組みを続けていきます。また、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練をおこない、高齢の利用者やワンステップ事業の体験者など、幅広いニーズに対応できるよう、きめ細やかな支援や作業環境の整備を行います。弁当配食事業では、クオリティを維持しながら、作業工程の効率化を図り、売り上げ向上を目指します。また、関係機関との連携を図りながら、本人のニーズや特性に合わせたアプローチで、継続的に就労支援を行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、一人ひとりの特性や得意なことを活かし、利用者同士が協力しながら技術向上や効率化を図れるよう、知識及び能力の向上のために必要な支援を行うとともに、適切な指導や訓練を行っていきます。新規顧客の開拓や共同受注の活動に積極的に参加することによって販路拡大や利益向上につなげ、工賃向上を目指して事業展開していきます。また、就労希望者のニーズに対応できるよう、関係機関との連携を密に行いながら支援体制を強化し、一般就労への2名以上の移行を目指します。利用者の個々の状況やニーズにあった関わりを通じて、自立した日常生活や社会生活が実現できるよう支援していきます。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、今年度も長期入院から単身生活をされる方をはじめ、グループホームから単身生活に移行される方を対象に、利用者が一人の住民として、地域で安心して暮らせるよう支援していきます。利用者の状況に応じた支援ができるよう、職員の知識や技術の向上を図ります。利用者の方とサービス終了後の生活をイメージしながら、自分の持っている力を発揮できるような支援を行っていきます。
- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、①コロナ渦中における利用者の不安やストレスの軽減に繋がる働きかけや支援②相談支援専門員の質の向上③丁寧かつ必要に応じたサービスの提供を掲げます。また地域移行支援事業・地域定着支援事業においては対象者の方が安心して退院や地域生活を行っていただけるよう、丁寧なアセスメントの実施、コロナ渦での悩みやストレスの把握などを行い、サービスの調整を行いたいと思います。

また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、助言、援助等に努め、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス等利用計画書の作成および評価を行います。

- ⑦ シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っっているが不安が残るとい方、また、家庭環境、住居等の事情により住居の確保が困難な方に対し、一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生活の最低限の援助をおこないます。地域の社会資源として活用していただき、定員6名の入居者が安心して生活できるように関わります。
- ⑧ 私たちは一人でも多くの方が地域で安心して暮らせるように、ピアサポート事業を通して応援します。継続的なピアサポートの研修や交流会を行い、当事者と共に学び、ピアサポートを進め、ピアサポーターを支えています。また、他機関とも連携を図りながら、地域移行の促進を目指し、ピアサポート活動のさらなる充実につとめます。
今年度も松山市の保健所サロンに協力していきます。
- ⑨ 法人として地域の活動に貢献すべく、地域行事への参加や啓発活動、また、行政の事業である地域移行定着支援事業、チャレンジ事業やピアサポート事業等に積極的に協力参加し、役割を果たせるべく進めていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業 どんまいハウス	通年	松山市内	23名	松山市内の精神障害者約34名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約40名
	自立生活援助事業 まいさぼ	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害者約3名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害者約94名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	通年	松山市内	48名	松山市内の精神障害者約6名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	通年	松山市内	48名	全職員及び実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	サロン事業 さろんだぞう	通年	松山市内	48名	全職員及び実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他 事業所との交流会、勉強会 など	通年	松山市内	48名	全職員及び実習生